

第1部 藤原 茂さん

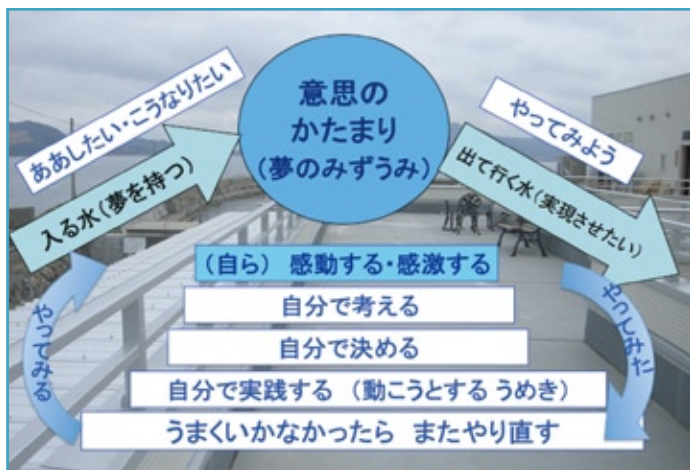
バリアありで自立を促す

■夢のみずうみ村 10のポイント

1. 緊張を生まない環境づくり
2. 施設内は社会の縮図
3. バリアありのすすめ
4. 環境の仕掛けで移動能力リハビリ
5. 自己選択・自己決定方式のプログラム
6. 重度・軽度の対象者の混在化を防ぐ
7. 『生きがいつくり』のコツは感情を揺さぶる
8. 当事者ケアとスター制度
9. 食べることを重視する
10. 「宅配ピリテーション」を知る



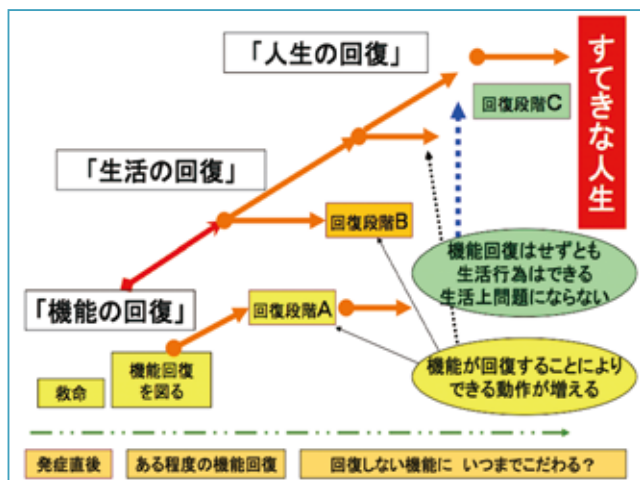
■弱くない生き方をすると「意思」を循環させることです



■緊張を生まない環境づくり



■弱くない生き方 「3つの回復」



■ 移動のリスクに自由度は比例



■ ONE STEP ONE GOODS 環境

ONE STEP ONE GOODS 環境

一歩先に、さわるもの すがるもの 寄りかかるもの
が 必ず最低1つ以上ある環境

杖や車椅子はなくても大丈夫な人は使わない
ステップ(歩幅)が狭い方は杖をつけてOKですよ

手すりをもうけない
(上肢依存型からバランス二の足依存型に)

**家具の間をもたれかかり移動
壁のよりかかり移動の重視**

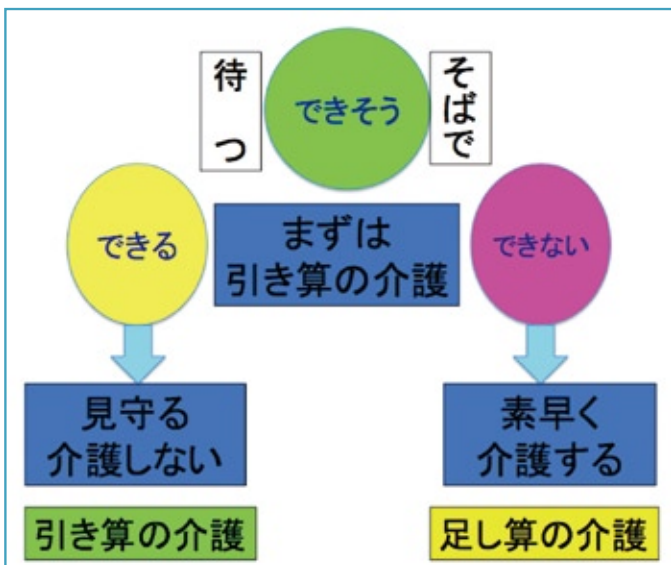
■ 宅配ビリテーション



■ バイキング方式



■ まずは引き算の介護



■ 自立された方が働く 就労支援事業所「夢結び」

